

## がんの予防

番号	C 個別施策
----	--------

## ①生活習慣(喫煙)

1	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	喫煙者の行動に影響する人達から、喫煙者に対して、タバコと禁煙に関する正しい知識を伝える	禁煙希望割合	男	31.4% (2021)	24.6% (2019)	
			女	57.1% (2021)	30.9% (2021)	
		喫煙の健康影響について正しい知識を持つ人の割合				
		地域を対象として普及啓発に努めている拠点病院等の割合				
2	禁煙希望者に禁煙してもらう	NDB-SCR/NDB ニコチン依存症管理料(再掲)		2342 (2021)		
3	公共施設等の受動喫煙防止対策を推進する	望まない受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合(再掲)	家庭		6.9% (2019)	
			職場		26.1% (2019)	
			飲食店		29.6% (2019)	

## ②生活習慣(飲酒)

2	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	ハイリスク飲酒者に対する簡易介入を行う	ハイリスク飲酒者の割合(再掲)	男 (40g)	27.7% (2021)		
			女 (20g)	42.0% (2021)		
2	ハイリスク飲酒に関する正しい知識を伝える	「節度ある適度な飲酒」の認知度	男	45.7% (2021)		
			女	37.0% (2021)		

## ③感染症対策(HPV)

3	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	9価HPVワクチンの定期接種を推進する	HPVワクチンの実施率	1回目 21.2% 2回目 15.7% 3回目 10.2% (2022)			
2	HPVワクチンの予防接種後に生じた症状への対応を行う	予防接種健康被害救済制度の申請者数に対する協力医療機関への受診割合				

## ④感染症対策(肝炎)

4	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	HBVの予防接種法に基づく定期接種を推進する	B型肝炎定期予防接種実施率				
2	肝炎ウイルス検査体制を充実させる	肝炎専門医療機関数		13 (2023)		東京都 687 (2023)
		公費肝炎検査実施数	B型肝炎ウイルス検査実施数	4,615 (2020)		
			C型肝炎ウイルス検査実施数	319 (10万人対)		
				4,410 (2020)		
				305 (10万人対)		
3	肝炎ウイルス陽性者への受診勧奨を行う	肝炎医療コーディネーターの養成者数		241人 (2021)		大阪府 2,546人 (2021)
		公費肝炎治療開始者数	B型肝炎	744 (2021)		
			C型肝炎	60 (2021)		

## ⑤感染症対策(HTLV-1)

5	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	妊婦に対するHTLV-1抗体検査と保健指導を行う	HTLV-1抗体検査の公費負担実施率		100% (2022)	100% (2022)	100% (2022)
2	保健所においてHTLV-1抗体検査と相談指導を行う	HTLV-1の保健所の検査数				

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

1	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	喫煙率と受動喫煙が減少できている	20歳以上の者の喫煙率	男性	29.5% (2019)	28.8% (2019)	京都 24.3% (2019)
			女性	8.8% (2019)	8.8% (2019)	島根県 4.2% (2019)
		中学生・高校生の喫煙者の割合	中学生	0% (2021)	0.2% (2021)	
			高校生	0% (2021)	0.7% (2021)	
		妊婦の喫煙率		2.0% (2021)	1.9% (2021)	山形県 0.8% (2021)
		望まない受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合	家庭		6.9% (2019)	
			職場		26.1% (2019)	
			飲食店		29.6% (2019)	
		NDB-SCR/NDB ニコチン依存症管理料		2342 (2021)		

2	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者が減少できている	ハイリスク飲酒者の割合	男 (40g)	27.7% (2021)		
			女 (20g)	42.0% (2021)		

3	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	HPV感染率の低下ができている	HPVワクチンの接種率				

4	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	B型・C型肝炎ウイルス陽性者数の減少ができている	B型・C型肝炎ウイルス検査受検率	B型肝炎	0.40% (2021)		山梨県 2.70% (2021)
			C型肝炎	0.39% (2021)		山梨県 2.68% (2021)
		B型・C型肝炎ウイルス陽性者数	B型肝炎	0人 (2022)		福島県他 0人 (2022)
			C型肝炎	0人 (2022)		岩手県他 0人 (2022)

5	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	HTLV-1 感染者数の減少ができている	HTLV-1 感染率				

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

1	分野アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	がん種別年齢調整死亡率(75歳未満、全年齢)が減少できている	がん種別(胃・肺・女性乳房・喫煙関連・肝・ATL・子宮頸部)年齢調整死亡率	胃	5.3 (2021)	6.6 (2021)	熊本県 4.8 (2021)
			肺	12.3 (2021)	11.9 (2021)	長野県 8.8 (2021)
			女性乳房	11.5 (2021)	9.9 (2021)	鳥取県 6.3 (2021)
			喫煙関連			
			肝	4.6 (2021)	3.7 (2021)	岐阜県 2.3 (2021)
			ATL	3.8 (2021)	2.0 (2021)	島根県 1.3 (2021)
			子宮頸部	5.6 (2021)	4.9 (2021)	新潟県 2.8 (2021)

2	分野アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
2	がん種別罹患率が減少できている	がん種別(胃・肺・女性乳房・喫煙関連・肝・ATL・子宮頸部)年齢調整罹患率	胃	男30.3 女13.8 (2019)	男63.4 女23.1 (2019)	男 沖縄県30.3 女 沖縄県13.8 (2019)
			肺	男53.6 女21.4 (2019)	男61.9 女26.1 (2019)	男 長野県50.2 女 島根県19.1 (2019)
			女性乳房	女112.1 (2019)	女100.5 (2019)	女 福井県 80.6 (2019)
			喫煙関連			
			肝	男18.2 女4.9 (2019)	男19.3 女6.0 (2019)	男 新潟県13.3 女 新潟県 3.7 (2019)
			ATL	男14.0 女7.5 (2019)	男8.9 女5.7 (2019)	男 山梨県5.1 女 秋田県3.2 (2019)
			子宮頸部	女19.3 (2019)	女13.9 (2019)	女 島根県 8.8 (2019)

※ATL(成人T細胞白血病)は、白血病 (C91-C95) の数値を入力している。

がん検診

番号 C 個別施策

①科学的根拠に基づくがん検診の実施について

1	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	指針に基づいたがん検診のみを行う	指針の遵守市町村の割合(再掲)	胃	年齢7.7% 間隔12.8% (2021)		
			大腸	年齢51.2% 間隔100% (2021)		
			肺	年齢39.0% 間隔95.1% (2021)		
			乳	年齢87.2% 間隔51.3% (2021)		
			子宮頸	年齢89.7% 間隔46.2% (2021)		
2	指針に基づかないがん検診を中止する	指針に基づかないがん検診の実施数と割合		22件 53.7% (2021)	1,423件 82.1% (2021)	滋賀県 1件 5.3% (2021)

②がん検診の精度管理等について

2	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等は、国等が企画する研修会を受講する	全国がん検診従事者研修(基礎)(実務)および全国がん検診指導者研修を修了した市町村の担当者等のそれぞれの割合				
2	県は受診率向上と精度管理のために研修会等を開催し、市町村等は担当者を受講させる	研修を終了した市町村の担当者等の数				
3	県は、がん登録情報等を活用したがん検診の精度管理について、市町村へ技術的支援等を行う	がん登録情報を活用した精度管理実施市町村数の割合				
4	県は、精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行い、それらに関する指導・助言等を行う	県が指導・助言を行った市町村数				
5	市町村は、指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上を行う	国の示す「市町村事業におけるがん検診の事業評価の手法について」に基づいた事業評価をしている市町村及び検診実施機関の割合				
6	職域を含めた、がん検診の実施者による分かりやすい情報提供を推進する	精度管理の実態や指標を定期的に評価・公開している市町村及び検診実施機関の割合				
		要精検率の許容値を達成している市町村の割合				
		精検受診率の目標値90%以上を達成している市町村の割合				
		未把握率の目標値5%以下を達成している市町村の割合				
		精検未受診率の目標値5%以下を達成している市町村の割合				
		感度と特異度の把握をしている市町村及び検診実施機関の割合				

③受診率対策について

3	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ精確に、また、個人単位で把握することができるように検討する	検討を行っている市町村の割合				
2	市町村及び県が連携して、より科学的かつ効率的な受診勧奨策(コールリコールなど)を推進し検診受診率を増加する	受診勧奨実施市町村の割合				
3	市町村及び県は、受診者の立場に立ったがん検診を受診する上で利便性の向上を行う	検診受診率の目標値60%以上を達成している市町村の割合				
		利便性の向上を行っている市町村の割合				
4	市町村は、啓発のための研修会等を行う	普及啓発キャンペーン実施市町村数	22 (2021)			
5	県は、職域等におけるがん検診や人間ドックについて、実施状況の継続的な把握に努める	指針に基づく検診の実施率				

番号 B 中間アウトカム

1	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	科学的根拠に基づいた検診の実施ができています	指針の遵守市町村の割合	胃 年齢7.7% 間隔12.8% (2021) 大腸 年齢51.2% 間隔100% (2021) 肺 年齢39.0% 間隔95.1% (2021) 乳 年齢87.2% 間隔51.3% (2021) 子宮頸 年齢89.7% 間隔46.2% (2021)			

2	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	検診の質の管理体制の構築と精度向上ができています	要精検率	男 0.021 女 0.018			
2		精検受診率	胃64.9% 肺59.4% 大腸57.2% 子宮頸65.5% 乳75.9% (2019)	胃84.4% 肺82.7% 大腸70.2% 子宮頸76.6% 乳89.8% (2020)		
		精検未受診率		胃6.0% 肺12.9% 大腸12.9% 子宮頸5.8% 乳2.9% (2020)		
		精検未把握率		胃9.7% 肺11.3% 大腸16.8% 子宮頸17.6% 乳7.3% (2020)		
		がん発見率				
		陽性反応適中度	男 1.32% 女 0.82%			
		感度 特異度 CIN3以上発見率(子宮頸がんのみ) 非初回受診者の2年連続受診者割合(乳がん、子宮頸がんのみ)				

3	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	科学的根拠に基づく受診勧奨を行い、検診受診率の増加ができています	検診受診率(国民生活基礎調査)	胃 47.6% (2022) 大腸 38.5% (2022) 肺 44.5% (2022) 乳 49.0% (2022) 子宮頸 45.4% (2022)			

番号 A 分野アウトカム

1	分野アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	有効ながん検診を有するがんの死亡の減少ができています	検診がん種別(胃、大腸、肺、乳房(女)、子宮頸)年齢調整死亡率	胃 5.3 (2021) 大腸 11.9 (2021) 肺 12.3 (2021) 乳房(女) 11.5 (2021) 子宮頸 5.6 (2021)			



2	分野アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
2	有効ながん検診を有するがんの進行がんの減少ができています	検診がん種別(胃、大腸、肺、乳房(女)、子宮頸)進行がん罹患率	胃 大腸 肺 乳房(女) 子宮頸			



緩和・支持療法

番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	緩和ケア	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	施設では、外来初診および入院時に、看護員による「痛み」のスクリーニングを行い、その後は必要な医療を行う	指標	外来初診時および入院時に、看護員による「痛み」のスクリーニングが行われたがん患者の割合			
		指標	前述の「痛み」のスクリーニングの結果を、看護員が主治医(主治医チーム)に報告が行われたがん患者の割合			
		指標	「痛み」のスクリーニングの結果を受けて、主治医(主治医チーム)が速やかに必要な緩和ケアが行われたがん患者の割合			
		指標	「痛み」のスクリーニングの結果を受けて、緩和ケアが主治医(主治医チーム)では充分行えない場合に、主治医(主治医チーム)から速やかに緩和ケアチームに紹介が行われたがん患者の割合			
2	外来患者は毎回の受診時に、入院患者は毎日、看護員による「痛み」のモニタリングを行い、その後は必要な医療を行う	指標	外来患者は毎回の受診時に、入院患者は毎日、看護員による「痛み」のモニタリングが行われたがん患者の割合			
		指標	前述の「痛み」のモニタリングの結果を、看護員が主治医(主治医チーム)に報告が行われたがん患者の割合			
		指標	「痛み」のモニタリングの結果を受けて、主治医(主治医チーム)が速やかに必要な緩和ケアが行われたがん患者の割合			
		指標	「痛み」のモニタリングの結果を受けて、緩和ケアが主治医(主治医チーム)では充分行えない場合に、主治医(主治医チーム)から速やかに緩和ケアチームに紹介が行われたがん患者の割合			
3	施設では、専門的な緩和ケアを提供できる人材とチームを整備する	指標	施設内の緩和ケアチーム新規登録症例数			
		指標	緩和ケア外来の新規登録症例数			
		指標	緩和ケア外来への、地域の医療機関からの紹介件数			
		指標	以下の専門家の数 ①緩和医療学会専門医及び認定 ②登録精神腫瘍医および精神腫瘍専門医 ③ペインクリニック専門医 ④放射線治療専門医 ⑤IVR専門医(放射線カーテール治療専門医) ⑥緩和ケア認定認定薬剤師 ⑦緩和ケア認定看護師 ⑧公認心理師 ⑨臨床心理士	①緩和医療学会専門医 ②登録精神腫瘍医 ③ペインクリニック専門医 ④放射線治療専門医 ⑤IVR専門医 ⑥緩和ケア認定認定薬剤師 ⑦緩和ケア認定看護師 ⑧公認心理師 ⑨臨床心理士		
		指標	上記の専門家が、専任で配置されている「施設」のそれぞれの割合			

番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
2	在宅医療	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合を増加させる	指標	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合を増加させる			
2	在宅でなくなったがん患者の医療に対する満足度を向上させる	指標	在宅でなくなったがん患者の医療に対する満足度を向上させる			
3	在宅医療を提供できる必要な資格を持った専門家を計画的に養成し、必要に応じて配置する	指標	施設緩和ケア連携調整員研修受講者数			
		指標	以下の専門家の数 ①在宅専門医 ②訪問看護 ③介護支援専門員 ④在宅医療インテグレーター	①在宅専門医 ②訪問看護 ③介護支援専門員 ④在宅医療インテグレーター		
		指標	以下の施設の数 ①在宅医療支援診療所 ②強化機能在宅医療支援診療所 ③在宅医療支援病院 ④訪問看護ステーション ⑤専門医療機関連携薬局 ⑥介護サービス事業所 ⑦訪問リハビリテーション事業所	①在宅医療支援診療所 ②強化機能在宅医療支援診療所 ③在宅医療支援病院 ④訪問看護ステーション ⑤専門医療機関連携薬局 ⑥介護サービス事業所 ⑦訪問リハビリテーション事業所		
4	看取りができる介護施設の拡大を図る	指標	看取りができる介護施設の拡大を図る			

番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
3	リハビリテーション	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	すべてのがん患者に対して、リハビリが必要な場合の適切な評価を行う。評価結果に基づき、必要に応じてリハビリを実施する	指標	がん患者リハビリテーションに関する施設基準を満たした「施設」の割合			
4	支持療法	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	患者が、治療に伴う副作用・合併症・後遺症への見直しを待たず、身体的苦痛や外見の変化等があった際に容易に相談できる環境を整備する	指標	リンパ浮腫研修の受講者数			
		指標	リンパ浮腫外来が設置されている「施設」の割合			
		指標	ストーマ外来が設置されている「施設」の割合			
2	施設では、各種ガイドラインに基づく支持療法を、組織的に実施している「施設」の割合	指標	施設標準化ガイドラインに基づく院内マニュアルを作成し、レジメンの登録が行われている「施設」の割合			

番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
5	妊産科医療	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	がん患者・家族が、生体機能への影響についての情報提供を十分に受ける	指標	相談支援センターにおける「妊産科医療」に関する相談件数	6件(2022)		
2	妊産科医療に関する体制を整備する	指標	日本がん・生殖医療登録システム JOFRへの登録件数			
3	がん治療後の生体機能に関する体制を整備する	指標	がん治療後の生体機能のために、臨床大学病院に紹介されたがん患者の数			

番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	がん患者及びその家族の苦痛の軽減が、QOLが向上できている	指標	患者体験調査-遠隔調査 患者は「痛み」に悩まされず、みやかに対応していたと感じる割合	80.1%	74.1%	
		指標	患者体験調査-遠隔調査 医師は「痛み」に悩まされず、みやかに対応していたと感じる割合	78.6%	71.7%	
		指標	医師調査 問10 2023年に、看護員による「痛み」のモニタリングの結果で痛む患者のうち、主治医(チーム)に速やかに伝えられた患者の割合はどの程度ですか。			
		指標	医師調査 問11 2023年に、看護員による「痛み」のモニタリングの結果で痛む患者のうち、主治医(チーム)に速やかに伝えられた患者の割合はどの程度ですか。			
		指標	医師調査 問12 2023年に、看護員による「痛み」のモニタリングの結果で痛む患者のうち、主治医(チーム)に速やかに伝えられた患者の割合はどの程度ですか。			
2	緩和ケアの質の向上がされている	指標	患者報告アウトカム(PAC)の改善率			
		指標	NDB-SCR/NDB 緩和ケア診療の算定回数	34.7(2020)	100(2020)	福井県 225.2(2020)
		指標	NDB-SCR/NDB L101神経ブロック(神経ブロック)使用回数	85.3(2020)	100(2020)	大分県 370.5(2020)
		指標	NDB-SCR/NDB 緩和ケア診療の実施数: M001-3(遠隔治療)による放射線治療の2	79.9(2020)	92.9(2020)	山形県 232.6(2020)

番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	希望する患者の在宅医療への移行が十分にできている	指標	調査調査 在宅でなくなったがん患者の医療に対する満足度	38.1%	38.5%	
		指標	調査調査 介護をしたことで、全体的に負担感が大きかった割合	53.1%	40.9%	
		指標	NDB-SCR/NDB 在宅サービス利用加算	73.8(2020)	100(2020)	神奈川県 197.5(2020)
		指標	NDB-SCR/NDB 看取り加算	76.9(2020)	100(2020)	神奈川県 195.9(2020)
		指標	NDB-SCR/NDB 介護支援等連携指導料(がん患者に限定)	96.7(2020)	100(2020)	秋田県 273.4(2020)
		指標	NDB-SCR/NDB 訪問看護指導料1(がん患者に限定)	171.1(2020)	100(2020)	岐阜県 282.9(2020)
		指標	医師調査 問26 在宅医療を希望された患者のうち、実際に在宅医療に移行した患者の割合はどの程度ですか。			

番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
3	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	施設では、必要な全ての患者に、適切なリハビリテーションが実施されている	指標	拠点病院等に入院入院中に、適切なリハビリテーションを受けた患者の割合			
		指標	NDB-SCR/NDB がん患者リハビリテーション料	125.5(2020)	100(2020)	福井県 187.1(2020)
		指標	医師調査 問27 リハビリテーションを行った患者の割合はどの程度ですか。			

番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
4	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	施設では、各種ガイドラインに基づく支持療法が行われている	指標	患者体験調査 医師による副作用の見直しを行った患者の割合	70.5%	63.0%	大分県 70.8%
		指標	拠点病院において支持療法に関する相談を実施された患者の割合			
		指標	NDB-SCR/NDB リンパ浮腫複合治療料	-	100(2020)	岩手県 537.7(2020)
		指標	NDB-SCR/NDB リンパ浮腫指導管理料	78.1(2020)	100(2020)	香川県 139.0(2020)
		指標	医師調査 問20 薬剤師の開始前、副作用の出る時期の説明も含めて、十分な説明を行った患者の割合はどの程度ですか。			

番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
5	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	妊産科医療及びがん治療後の生活の質が十分に保たれている	指標	がん・生殖医療にて出生した子供の数			
		指標	患者体験調査 治療開始前、生体機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	小児 NA AYA31.1%	小児 NA AYA51.6%	
		指標	医師調査 問22 医師と看護員の間にお互いに、妊産科医療に関する説明が必要な患者のうち、実際に妊産科医療の説明を行った患者の割合はどの程度ですか。			

番号	分野アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	分野アウトカム	指標	指標項目	沖縄県 <td>全国値 <td>最良値 </td></td>	全国値 <td>最良値 </td>	最良値
1	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに患者生活の質の向上がされている	指標	患者体験調査 がんが人生に与える身体的苦痛や精神的苦痛の軽減が、日常生活に支障を及ぼさない患者の割合	70.4%	69.5%	岡山県 79.8%
		指標	患者体験調査 身体的苦痛や精神的苦痛の軽減が、日常生活に支障を及ぼさない患者の割合	43.5%	42.5%	山口県 55.2%
		指標	患者体験調査 現在十分な日常生活を送れていると感じる患者の割合	78.3%	70.1%	徳島県 83.5%



C 個別施策						
番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
<b>①相談支援</b>						
1	個別施策	がん相談支援センターに準じた相談支援センター以外の「施設」の割合	がん相談支援センターに準じた相談支援センター以外の「施設」の割合			
1	拠点病院等以外の「施設」では、がん相談支援センターに準じた相談支援センターを構築し、がん患者とその家族等への相談業務を行う					
2	「拠点病院等」では、治療方針の決定の前までに、がん相談支援センターに立ち寄った患者の割合					
3	「拠点病院等」では、相談者からのフィードバックを受ける仕組みづくりを行い、「がん相談対応のモニタリング」等に準じて「がん相談対応評価表」等を用いて定期的に自己評価を行う	①認定がん相談支援センターの数 ②認定がん専門相談員数 ③相談員指導者研修修了者数 ④相談員基礎研修(3)修了者数	①認定がん相談支援センターの数 ②認定がん専門相談員数 ③相談員指導者研修修了者数 ④相談員基礎研修(3)修了者数			
4	拠点病院は、地域拠点病院等と協働して、ピアサポーターの養成を行う	ピアサポーター研修会及びフォローアップ研修会を修了した人数				
5	「施設」ではピアサポートを行うとともに、ピアサポーターを活用した患者サロンを、患者に活用される方法で運営する	各拠点病院等のピアサポーター件数				
		患者サロンの開催回数				

②情報提供						
番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	県は、関係団体と協力し、障害等の関係でコミュニケーションに配慮が必要な県民および日本語によるコミュニケーションが難しい人の情報へのアクセスを確保するため、音声資料や点字資料、英語等による説明書等を作成し、「施設」に配布し、情報が行き届くようにする	「施設」に配布した①音声資料、②点字資料、③外国語資料の種類				
2	県は、県庁のホームページの「施設」に関する説明を定期的に改訂し、「施設」に関する啓発を図るなど広報に努める	「施設」の検索数				
3	「施設」では、自院のホームページや印刷物等で、対応可能ながん種などを情報提供する	以下が、ホームページまたは印刷物で情報提供されている「施設」の割合 ①具体的な専門医の情報と組織されている専門チームの情報 ②診断できるがん種の種類 ③治療できるがん種の種類				
4	「施設」では、自院のホームページや印刷物等で、院内がん登録のベンチマークの分析結果および患者の質の評価の分析結果等を情報提供する	以下が、ホームページまたは印刷物で情報提供されている「施設」の割合 ①院内がん登録のベンチマーク結果の情報 ②医療の質の評価のベンチマーク結果の情報				
5	「施設」では、自院のホームページや印刷物等で、自治体や患者会等が主催する講演会等を積極的に広報する	「施設」で、ホームページで広報した自治体や患者会等が主催する講演会等の件数				

③デジタル化						
番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	「施設」は、がん患者が院内で利用できるインターネット環境を整備している	患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している「施設」の割合				
2	「施設」は、がん患者に対するセカンドオピニオンを含むオンライン診療を提供する	オンラインでの相談を受け付けることができる体制を確保している「施設」の割合 セカンドオピニオンをオンラインで施行できる体制を確保している「施設」の割合				
3	拠点病院は、離島へき地のがん患者の診断・治療に関して、医療従事者とオンライン会議が実施されている	拠点病院等と離島へき地の医療機関とのカンサードの実施数				

④就労支援(医療機関側)						
番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	「施設」の担当医は、患者の就労状況について把握し、患者が治療に入る前に、仕事を続けながら治療が可能であることを説明する	患者の就労状況について把握し、患者が治療に入る前に、仕事を続けながら治療が可能であることを説明する「施設」の割合				
2	「施設」の担当医は、患者が治療に入る前に、がん相談センターまたはそれに準じた組織において、就労に関する相談をするように紹介する	がん相談支援センターにおける就労に関する相談件数				
3	「施設」では、地元のリソース等と協力しての就労相談を行う	拠点病院等における就労の専門家による相談会の回数 ハローワークと連携した就職支援を行った患者の数				

⑤就労支援(職場側)						
番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	事業主として、雇い支援コーディネーターを配置して、がん患者の就労相談を行う	雇い支援コーディネーターを配置している事業主の割合				
2	事業主として、地元のリソース等と協力しての就労相談を行う	長期療養者就職支援事業を活用した就職者数				
3	事業主として、地元の産業保健総合支援センター等と協力しての就労相談を行う	産業保健総合支援センターで扱った件数				

⑥アピアランスケア						
番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	担当医は、治療前からがん治療に伴う副作用についての説明を発症前から含めて十分に説明を行い、アピアランスの変化が生じた場合は早期から積極的にがん相談支援センターと協力して対応を行う	がん相談支援センターにおけるアピアランスに関する相談件数				
2	「施設」は、外来化学療法室にアピアランスケアの研修を受けた職員を配置して、早期から積極的にがん相談支援センターと協力して対応を行う	アピアランスケアの研修を受けた職員が配置されている外来化学療法室の割合				
3	県は、拠点病院にアピアランスケアセンターを設置し、患者向けの講演会の開催やケア帽子(またはウィッグ)に対する経済的援助を行う	患者向け講演会の開催回数				

⑦自殺対策						
番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	外来と入院患者向けの自殺防止マニュアルをそれぞれ整備し、研修を行い、がん患者の診断後の自殺対策がされている	自殺防止に関する院内マニュアル等を①外来患者用、②入院患者用に整備している「施設」の割合				
2	希死念慮が認められた場合に、早急に精神科医に紹介する	希死念慮が認められた場合に、早急に精神科医に紹介した件数				
3	「施設」では、精神科医が週1回以上勤務するようにする	精神科医が週1回以上勤務している「施設」の割合				

⑧がん患者の疎外感の解消やがんに対する偏見の払拭						
番号	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	県は、関係団体と協力して、がんやがん患者 経験への理解を深めるためのイベント等を開催し、偏見がなく、がん患者が疎外感を抱かないようにする	イベントの開催回数				
		がん患者団体イベントへの県が共催または後援した回数				

B 中間アウトカム						
番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	中間アウトカム	患者体験調査	患者体験調査			
1	がん患者やその家族が、質の高い相談支援を受けることができる	患者体験調査 医療スタッフと十分な対話ができたと答えた人		70.6%	67.8%	愛媛県 79.4%
		患者体験調査 がん相談支援センターを知っている人		74.0%	66.9%	
		医療者調査 問18 がん診療連携拠点病院等に設置されている「がん相談支援センター」において、十分な情報提供を行った患者の割合はどの程度ですか。				
2	患者やその家族が、ピアサポートを受けることができる	患者体験調査 ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合				
		患者体験調査 ピアサポートを知っている人		43.0%	27.5%	沖縄 43.0%
		医療者調査 問19 患者サロン(ゆんたく会)やピアサポート、患者会について、十分な情報提供を行った患者の割合はどの程度ですか。				

2 中間アウトカム						
番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	患者やその家族が、医療者から十分な情報を得ることができている	患者体験調査 治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた人		71.4%	75.2%	長野県 83.1%
		患者体験調査 治療スケジュールの見直しに関する情報を十分得ることができた人		83.3% (2018)	75.1% (2018)	大分県 86.4% (2018)
		医療者調査 問14 治療スケジュールの見直しについて、治療方針の決定までに、十分な情報を提供できた患者の割合はどの程度ですか。				
		医療者調査 問15 医療費について、治療方針の決定までに、十分な情報を提供できた患者の割合はどの程度ですか。				

3 中間アウトカム						
番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	デジタル化によりがん患者・家族を含む国民が、適切な情報・医療資源・支援に容易にアクセスすることができる					

4 中間アウトカム						
番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	がん患者とその家族が、仕事と治療の両立についての必要な支援を受けられることができる	患者体験調査 治療開始前に就労の継続について医療スタッフから話があった人		27.2%	38.6%	神奈川県 53.6%
		NDB-SCR/NDB 療費・就労再立支援指導料			100	
		医療者調査 問16 就労の継続について、治療開始前に、十分な情報を提供できた患者の割合はどの程度ですか。				

5 中間アウトカム						
番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	がん患者とその家族が、仕事と治療の両立についての必要な支援を受けられることができる	患者体験調査 職場や仕事上の関係者から治療と仕事を両方続けられるような勤務上の配慮があったと思う人		74.4%	65.1%	秋田県 86.1%
		患者体験調査 治療と仕事を両立するために社内制度を利用した人		26.1%	35.6%	

6 中間アウトカム						
番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	がん患者の疎外感の解消やがんに対する偏見の払拭がされている	患者体験調査 外見の変化に関する悩みを誰かに相談できた人		31.6%	28.5%	徳島県 42.0%
		医療者調査 問17 アピアランスケアについて、治療開始前に、十分な情報提供を行った患者の割合はどの程度ですか。				

7 中間アウトカム						
番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	がん患者の自殺を減らすことができる	がん患者の自殺数				
		NDB-SCR/NDB がん患者指導管理料	入院	120.8	100	
			外来	66.5	100	
			入院+外来	78.2	100	

8 中間アウトカム						
番号	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	がん患者の疎外感の解消やがんに対する偏見の払拭がされている	患者体験調査 がんが診断されてから周囲に不必要に気を遣われていると感じる人		18.0%	12.9%	
		患者体験調査 (家族以外)の周囲の人からがんに対する偏見を感じる人		3.9%	5.2%	滋賀県 11.7%

A 分野アウトカム						
番号	分野アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上がされている	患者体験調査 がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う人		52.6%	47.1%	岡山県 57.0%
		患者体験調査 治療開始前に、病気のことや療養生活について誰かに相談できた人		79.9%	76.5%	栃木県 92.2%
		患者体験調査 治療費用の負担が原因で、治療を変更または断念したことがある人		4.0%	5.0%	群馬県 11.7%

基礎

C 個別施策

①研究の推進

1	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	行政と琉球大学の研究機関が、定期的に会議等で進捗や状況の現状課題を共有し、議論することで、関係機関との連携体制を強化する					
2	施設における臨床研究と治験を推進する。					

②人材育成の強化

2	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	必要な知識を身に付けた専門的人材が増加し、適正な配置を行う	活動の管理専門医が1名以上配置されている「施設」の割合				

以下	以下の専門医の数 ①臨床遺伝専門医 ②認定遺伝カウンセラー ③がんゲノム医療コーディネーター	①臨床遺伝専門医 ②認定遺伝カウンセラー		4.3人 (2022) 対人口100万人	18.74人 (2022) 対人口100万人	島根県 45.02人 (2022) 対人口100万人
以下	以下の専門医の数 ①消化器外科専門医 ②呼吸器外科専門医 ③乳癌外科専門医 ④小児外科専門医 ⑤肝臓病外科高度医療専門医 ⑥脳神経外科専門医 ⑦認定骨・軟部腫瘍医 ⑧婦人科腫瘍専門医 ⑨皮膚科腫瘍専門医 ⑩泌尿器科専門医 ⑪循環器科専門医 ⑫口腔外科専門医	①消化器外科専門医 ②呼吸器外科専門医 ③乳癌外科専門医 ④小児外科専門医 ⑤肝臓病外科高度医療専門医 ⑥脳神経外科専門医 ⑦認定骨・軟部腫瘍医 ⑧婦人科腫瘍専門医 ⑨皮膚科腫瘍専門医 ⑩泌尿器科専門医 ⑪循環器科専門医 ⑫口腔外科専門医				
上記	上記の専門医が、常勤で配置されている「施設」のそれぞれの割合					
放射線治療	放射線治療専門医が何らかの形で月に1回以上または月に1回以上関わっている「施設」の割合					
以下	以下の専門医の数 ①放射線治療専門医 ②放射線治療専門放射線技師 ③医学物理士 ④がん放射線療法看護認定看護師	①放射線治療専門医 ②放射線治療専門放射線技師 ③医学物理士 ④がん放射線療法看護認定看護師				
以下	以下の専門医が、常勤で配置されている放射線治療施設のそれぞれの割合 ①放射線治療専門医2名以上 ②放射線治療専門放射線技師2名以上 ③医学物理士 ④がん放射線療法看護認定看護師	①放射線治療専門医2名以上 ②放射線治療専門放射線技師2名以上 ③医学物理士 ④がん放射線療法看護認定看護師				
がん薬物療法	がん薬物療法専門医が何らかの形で月に1回以上または月に1回以上関わっている「施設」の割合					
以下	以下の専門医の数 ①がん薬物療法専門医 ②がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師およびがん指導認定薬剤師 ③がん看護認定看護師、がん薬物療法看護認定看護師および乳がん看護認定看護師	①がん薬物療法専門医 ②がん指導薬剤師、がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師およびがん指導認定薬剤師 ③がん看護認定看護師、がん薬物療法看護認定看護師および乳がん看護認定看護師				
上記	上記の専門医が、常勤で配置されている「施設」のそれぞれの割合					
以下	以下の専門医の数 ①緩和医療学専門医及び認定医 ②登録精神腫瘍医 ③ペインクリニック専門医 ④放射線治療専門医 ⑤IVR専門医(放射線力ターゲ治療専門医) ⑥緩和医療学認定薬剤師 ⑦緩和ケア認定看護師 ⑧公認心理師及び臨床心理士	①緩和医療学専門医及び認定医 ②登録精神腫瘍医 ③ペインクリニック専門医 ④放射線治療専門医 ⑤IVR専門医(放射線力ターゲ治療専門医) ⑥緩和医療学認定薬剤師 ⑦緩和ケア認定看護師 ⑧公認心理師及び臨床心理士				
上記	上記の専門医が、常勤で配置されている「施設」のそれぞれの割合					
以下	以下の専門医の数 ①在宅専門医 ②訪問看護師 ③介護支援専門員 ④在宅医療インテグレーター	①在宅専門医 ②訪問看護師 ③介護支援専門員 ④在宅医療インテグレーター				

③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

3	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	すべての高等学校でがん教育を1時間以上行う	がん教育を、いずれかの学年で、すべてのクラスで1コマ以上行っている私立高校の割合				
3	がん教育が可能な外部講師の養成	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合		2.9% (2021)		佐賀県 28.3% (2021)
4	県及び市町村は、広報誌にがんに関する情報を定期的に掲載する	年に2回以上広報誌にがん情報を載せた県及び市町村の割合				
6	事業主は、雇用者が、がんに関する正しい理解を得ることができるように普及啓発活動を行う	がん対策推進企業アクションの参加企業数				
7	医療保険者は、被保険者・被扶養者が、がんに関する正しい理解を得ることができるように普及啓発活動を行う	医療保険者が主催した産業医、社労士等の専門家による研修会を開催し、従業員半数以上が参加した事業所の割合				

④がん登録の利活用の推進

4	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	直前がん登録(院内がん登録)の精度を高め、活用可能性を上げる	MIR %DCO		0.37 (2019年経例) 1.20% (2019年経例)		

⑤患者・市民参画の推進

5	個別施策	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	県がん対策推進計画の策定過程において、世代、世代、がん種等を考慮し、多様ながん患者等の参画を推進する	沖縄県がん対策推進協議会、沖縄県がん対策推進協議会において、がん患者を代表する者の人数及び参加割合		26.6%		
2	患者・市民参画を推進するにあたって、参画する患者・市民への啓発・育成を行う	オンラインミーティングの開催回数及び参加者数または一般市民の参加人数				
3	「施設」では、自院のホームページや印刷物等で、自治体や患者会等が主催する講演会等を積極的に広報する	「施設」で、ホームページで広報した自治体や患者会等が主催する講演会等の件数				
3	医療従事者の意識向上に取り組む					

B 中間アウトカム

①

1	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	社会医学研究や臨床研究等を推進することにより、沖縄県の特性、疾病及び医療の現状等が明らかになるなど、がん対策の基礎資料が整備されている					

②

2	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	必要な知識を身に付けた専門的人材が増加し、適正な配置ができています	医療者調査 問41 今の職場は、あなたが必要な知識を備えた専門的人材(研修や「キャリア」形成(専門資格)を取得するなど)を支援してくれていますか。				

A 分野アウトカム

①

1	分野アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています	患者体験調査 一般の人が受けられるがん治療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合				
		患者体験調査 現在自分らしい日常生活を送れていると感じる人				

③

3	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	県民ががん予防や早期発見の重要性を認識し、がんを正しく理解し向き合っている					

④

4	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	全国がん登録(院内がん登録)の利用ができています	利用件数(総数・年あたり)				

⑤

5	中間アウトカム	指標	指標項目	沖縄県	全国値	最良値
1	がん対策の重要性を認識し、がん医療について正しい理解を、医療の向上に向け自らも協力する県民(がん患者含む)の割合が増加しています	沖縄県がん対策推進協議会、沖縄県がん対策推進協議会、沖縄県がん対策推進協議会での患者関係委員の発着回数		27.2	38.6	
		オンラインミーティングにおける患者関係者または一般市民の発着回数				
		患者関係者(医療者の共催イベント)の数				